

アンケート集計結果(25/44)

県内各クラブにおいては、新型コロナウイルスの感染予防のため、屋内体育施設や屋外体育施設の使用制限があり活動が制限若しくは休止状況にあるのではと懸念されます。

まず、その状況把握と活動できないことによる財政面での課題などについて調査することが今後の対応等で必要と考え、各クラブにアンケート調査を実施し、県内の実情を関係機関と協議できればと思います。

1 クラブで使用が制限されているのは、どの施設ですか？

- ①すべての施設 ②屋内施設のみ ③屋外施設のみ ④制限なし

① ② ③ ④

* 大半の施設に使用制限がかかっている現状である。

2 活動状況について

- ①すべて休止 ②屋内のみ実施 ③屋外のみ実施 ④通常どおり実施

① ② ③ ④

* 大半クラブの活動を休止しているのが現状である。

* チケット制を導入しているクラブは、収入減に直結することが考えられる。

3 一部でも休止している場合の周知方法(複数回答可)

- ①電話・ライン等 ②ハガキ・手紙 ③広報誌 ④張り紙

① ② ③ ④

* クラブ独自で概ね連絡できる連絡網が形成されていることがうかがえる。

4 一部でも休止している場合、休止の期間

- ①3月末 ②当分の間 ③未定 ④わからない ④ 月 日まで

① ② ③ ④

* 3月まで迄の休止が大半で当分の間とされているクラブもある。

* アンケート時期には大分県内で感染者が無かったが感染者が発生したことにより、休止期間の延長が考えられる。

5 指導者への対応

- ①一定の謝金を払う ②払わない ③協議する ④わからない

① ② ③ ④

* 謝金を払わないクラブが多いが長期になった場合、指導者とクラブとの関係性が崩れる恐れが考えられる。

6 指導者の気持ち

- ①了解している ②しかたなく了解 ③不満が出そう ④わからない

① ② ③ ④

* 指導者は概ね謝金や教室等が無いことに了解しているが長期になると気持ちの変化を生じ今後の活動に必要な指導者の確保が難しくなる可能性があると考えられる。

7 一部でも休止している場合、財政状況の見通しはどうか(3月末決算の場合)

- ①問題ない ②収入不足になりそう ③確実に赤字 ④わからない

① ② ③ ④

* 令和元年度決算では12のクラブが問題ないと回答しているが収入不足を懸念しているクラブが8クラブ、確実に赤字が4クラブあり、今後、この状況が続けばクラブの存続に影響することが考えられる。

8 次年度の財政予想(現在の状況で次年度の状況を予想した場合について)

- ①問題ない ②運営が厳しくなりそう ③活動規模の縮小 ④わからない

① ② ③ ④

* 次年度について問題ないとの回答が32%、運営が厳しくなるが28%、規模縮小が12%、わからないが28%であることから半分のクラブの活動に何らかの影響が生じるものと考えられ長期にわたるほど、その影響が大きくなるものと考えられる。

9 次年度の会員予想(現在の状況で次年度の状況を予想した場合について)

- ①現状維持 ②会員減 ③会員増 ④わからない

① ② ③ ④

* 40%ほどのクラブが現状維持と回答し、36%のクラブが会員減を想定している。また、見通しが立たないクラブが6クラブあり次年度についてはクラブにとって会員の増加や財源確保に不安感があることが予想される。そのことはスポーツ実施者が減少することであり、運動不足に起因する疾病の増加が懸念される。

10 現状を踏まえて次年度地元行政等に臨むことは何ですか

- ①財政支援
②管理委託
③事業委託
④企画連携と協働事業の実施
⑤所管部署以外との企画連携と協働事業の実施
⑥その他

① ② ③ ④ ⑤
⑥

* 財政支援を望むクラブが多くある。次にスポーツ部局以外との連携協議し協働事業の展開や企画連携を望むクラブが8クラブある。更に管理委託や事業委託を望むクラブやスポーツ部局との企画連携や協働事業を望むクラブが同数ある。

* コロナウイルスの収束がつかず、緊急事態宣言の発令行動制限になればその期間にもよりますが、スポーツ活動どころではなく、会員減収入減は明らかで政府からの発令であれば人件費等の補償を求めたい。

* 今のところ3月の教室が休止状態だが、再開すれば生徒は戻ってくれると思う。が、今の状況とは別に新しい事業(収入の見込める)を考えていく必要がある。

* 市の補助金(地域活力創生事業)を今までどうり申請出来るが、将来の見と出しが出来ないので不安である。

* 今のところ、今年度並みの活動と、高齢者向けを中心とした教室の開拓を模索しているところです。活動休止のため、次年度の保険手続きや、会員の継続手続きができません

* 当クラブは、次年度設立4年目を迎え、自立可能なビジョンを見極める年となりました、課題である会員増、スタッフの確保と安定化、指導者の確保等、課題が山積しています。会長が言われるように、認証制度を災い転じて福となすように、(クラブ)(行政)(支援組織)がパートナーとなって連携を組んでいけたらと思います。(宜しくお願いします)

自由記載
* 地域自治会連合会との協働による地域全体の健康&スポーツを体系立てて(老若男女の選択可能な)推進する。

* 無責任国・県・地方自治体の対応。

* お疲れ様です。今、不安に思うクラブが沢山あると思います。会長のリードには頭が下がります。我がクラブでもできないではなく、出来ることを考えながら次年度に繋げたいと思います。

* 来期に予定されていた、委託事業が1年先送りになりました。理由は、現在使用しているクラブハウスの所有者である別府大学が建物維持に経費をさけず、今後建物の取り壊しの可能性があるため。建物取り壊しとなった場合、当クラブは活動できるクラブハウスを失い、解散の可能性も大きいと考えています。以前から、クラブの運営基盤として、市から委託事業をもらえないか申し出ていますが、全く受け入れてはもらえません。担当課からお話のある委託内容は、当クラブの現状を全く理解していない内容の物ばかりです。

* 由布市のクラブはもとは行政が作れとの指示でやむなく作った経緯がありtoto補助事業の時のみ市からの支援があった。現在は体育施設の管理委託を各クラブに任せてくれています。おかげでクラブハウスと管理委託金を頂けています。が、管理委託金額が大分県の最低賃金の金額なので全く働く人の事を考えていない額面です。市の財政が苦しいのは重々分かっていますがそこにクラブマネージャーの賃金を少しだけ加味した金額を頂けたらクラブとしてもとても助かるのが実情です。「人・物・金」の「金」の部分だけもう少し協力をと臨みます。

* 当クラブ収支を分析すると、委託費が安価なのでクラブ収入より人件費へ回しておりここが解できなければ苦しい。クラブ運営に携わる協力者の発掘が最重要課題です！
教室開催時に次年度の申し込みが多いのですが、今回は休止してるので申し込みが出てこない

* ネットやSNSを通じて運動指導を配信したらいいと思うのですが、田舎だと高齢者が多く対応できる人が少なく難しいかと…。このままコロナの影響が続けば更にクラブ運営が不透明に。

* 地元との関係強化に努めてきた現在の成果として、会員増員に対する各町内よりの後押し協力が一番の臨みです。

* 早く、終息してもらいたい新学期になった場合の対応が不透明なため、翌年度活動が読めない。

* 指導者の収入源は現状から考えるとしかたない。高齢者の運動が途切れると今まで積み上げたものが崩れる恐れがある。継続更新手続きの最中なので状況を見て再開したい。

* まず、現況から懸念されることは、外出等の制限がなされていることから体を動かす機会の減少し様々な疾病の増加が予想されることを考えると各クラブの活動が再開された場合、高齢者、部活動を中心にストレッチや段階を踏まえた運動再開などを考慮する必要があるように思います。

* クラブについては、現在の状況が長期化すれば財政破綻を生じる可能性、活動規模の縮小など生じる可能性があるように考えられる。

* 前出のことを踏まえ、行政などとの連携による事業委託など活動の場の拡大と財政確保の両面からしっかりした協議がなされることが重要と考えられる。

* 恒常的にスポーツが行える場の確保ができるのは総合型地域スポーツクラブが唯一無二であると考えられ、その場では、子供から高齢者までが集える場を形成することが可能であることから新たなコミュニティーの創生でもあります。